

情報学委員会  
サイバー・フィジカル環境における生存情報学検討分科会  
(26期・第10回)

議 事 録

1. 日 時 令和7年11月19日(水) 20:00-21:00
2. 会 場 オンライン会議 (ZOOM)
3. 参加者：内田 誠一、永井 由佳里、荒川 薫、井上 美智子、大倉 典子、加藤 由花、木村 朝子、後藤 真孝、庄司 裕子、椿 美智子、中小路 久美代、長田 典子、灘本 明代、橋本 隆子、平田 貞代、宮崎 久美子、山下 直美、横尾 真 (19名)  
欠席：大場 みち子、相澤 清晴、大柴 小枝子、加藤 ジェーン、河邊 隆寛、佐藤 洋一、中野 有紀子、西野 恒、長谷山 美紀、八木 康史、土井美和子 (10名)
4. 議 題
  - (1) 公立はこだて未来大学 教授 中小路久美代先生ご講演  
テーマ：人工物の科学としてのデザイン学の視座から見る HCI 研究：  
「アプリケーションシステム」と基礎／応用の構図を問い質す
  - (2) 今後の予定
5. 議 事
  - (1) 公立はこだて未来大学 中小路久美代先生ご講演  
中小路久美代先生より、HCI研究を「人工物の科学」としてのデザイン学の視座から再検討。従来のHCIが「アプリケーションシステム」を単位として基礎研究と応用研究を区別してきた構図自体を批判的に問い直し、これからの新たなHCI研究の枠組みを提案に関するご講演をいただいた。その後これらの事例についてのディスカッションを行うと共に、現状のHCIの研究についての活発なディスカッションを行った。
  - (2) 今後の予定  
今後は2月か3月に生存情報学について考えてゆくハイブリッドな会議を開催する予定である。
6. 配布資料  
なし